

## ☆出会いの旅

# み仏との 出会い



丸山寿美

（仏画師）

紀淡海峡の渦潮のとどろきが雄然とひびき来る徳島県鳴門市大麻町板東の名刹竺和山靈山寺の山門をくぐると第一番札所と言われるだけに身の緊まる思いがいたしました。み仏との出会いです。四国の東北端孫崎「大毛島」に淡路から懸けられた鳴門大橋（一三五〇m）の大つり橋の真新しさと渦潮の香がいりまじって息づいていました。四国、善通寺で生れられた高僧、弘法大師空海が、修行の道場の最初の一歩とされた古寺です。

寺務所で、巡礼に必要なもの一式を買い整え、金剛杖を手にした巡礼姿にまぶしみまでわいてきました。順打ち、旅立ちとも言わるとか。竺和山とは、笠は釈尊が法を説かれた最初の地インドの地のこと、天竺の中国的な呼び方であり、靈鷲山。インド北部の舍衛国と言われたあたりに思いをはせた弘法大師によって名付けられたそうです。ご本尊は釈迦如来であり、空海の作。この開基は天平年間、聖武天皇（七二四即位）のころ行基菩薩だと言われています。開山は弘法大師。

出会う人達は、ともに柔軟なお顔で、会釈を交したり「よくぞお参りに来られましたね」と声をかけて下さる方々に心和ませられ、信心の篤さを感じさせられました。私は現在、絵の勉強をしております。それも今は私の師でもある、若く美しい先生との出会いがあつたからです。その先生の個展に伺った時すばらしい大日如来様の絵に魅せられ、息をのんだことでした。その大日如来様

は、淡い色彩の中から、まことに慈愛に満ちたまなざしで、気品あふれた美しさがあり、愛らしく、それでいて、静かです。「ああなんですからしいお姿」と立つて、自分の身さえ、流れゆく時と共に忘れさせる珠玉の一枚がありました。そうして気がついた時、今度はその大日如来様の絵が、無精に欲しくなり「私のところへ、お迎えさせて頂きたい」と申し入れたものの、先生もその絵だけはお手元に置いておきたいとのお言葉で「それではご自分でおかきになられては……」とのご返事。先生のそのお言葉以来、全く絵の心得もなければ、仏様の何であるかも知る由もない私が、ただただひたすらに、お寺への巡拝を重ねていくうちに私は、私なりに絵の勉強と仏のみ心に通うものを感じさせて頂きました。がむしゃらに、ひたむきに、同じ絵を何枚も何枚も、毎日毎日の日を重ねて、積みあげることが出来ました。時には、人を忘れ、時を忘れてみ仏のもとに没頭してまいりました。現在では、尊厳な大日如来様を始め、名もなくひつそりとお立ちになる路傍の野仏に至るまで、広くお話をさせて頂けるようになった幸せを覚えます。命の花を咲かせて下さる淨土への憧れは、私の未熟な絵と共に、とどまることなく、一つの情熱へと無限の時間を与えて下さっています。



高知県にある第39番札所、延光寺で



本金で描かれた清觀音



今年6月の作品「慈悲」

飛行機に、新幹線に、高速道路にと交通機関が、思いのままになり、発達し、大昔の命がけで幾日も時の浪費を重ねた難行苦行が、しのばれます。巡礼の妙味は、歩くとかの苦行をしなければ味わえないのではないですか。レジャーに様替わりしは惜しまれます。大型バスから降りた巡礼姿の方々が納経所めがけて駆けつけられる風景を目にしますが、巡礼の現代版とでもいうスナップなのでしょうか。ご朱印をいただくために我先にと走り回っておられます。

私が西国三十三か所巡りを終えたのは、十三年前のことでした。当時は何の意義もわからないままに、ただお寺が好き、ただ仏様が好きという単純な気持で三か年をかけて巡り終えました。各寺々のご朱印と境内の空気のすがすがしさを味わい得ながらの旅でした。その中でも特に忘れない思い出の一つは、南紀、那智山青岸渡寺の雨後の朝焼けに輝く光景に心うたれたことでした。朦朧と包まれた朝焼けの中から金色に輝き出る靈場のお御堂。しかも札所第一番の豊の莊嚴さは、今でも胸の中に鮮明に光り続けています。

多くのお寺を訪ね、たくさんのみ仏ともお出会いできることによって、それと共に、人の出会いと別れの不思議さも知るようになりました。静かにふり返る過ぎ去った道をみつめる時、人生に有頂天になつた時もありました。人生をはかなんだ時もありました。単純でないとおぼろげながら感じられるようにもなつてしまいました。しかし、なんと心ひかれ、心信じ、心開ける人の少ないことかと人の世のはかなさ、人のつながりのはかなさに人を拒絶し、時を拒絶する自分の愚かさを思えるようになりました。生きとし生けるもの、すべて彼の淨土に帰する——という結論に至るとき、わずかな命のある限り、み仏にすがり、み仏を信じ、み仏と同行したいといふ一念から四国八十八か所巡りと相成った次第です。母と妹と共にみ仏に命をあずけ私の心の旅は、まだまだ果てしなく続くことでしょう。

# ふをもびプロフェッサーPの研究室

岡 田 淳

つめたいコーヒーでも どうぞ



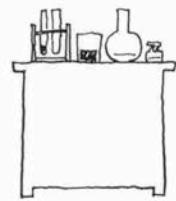
これがあの有名な  
ブラジル製の下剤じゃ



いっぷくしたあと すぐには  
こいつを分析してみよう



例の秘密の製法一  
というやつですね



おかしい……  
どう分析してみても  
アイスコーヒーという結果が出る

冷蔵庫にはいっているから  
とってきてくれ



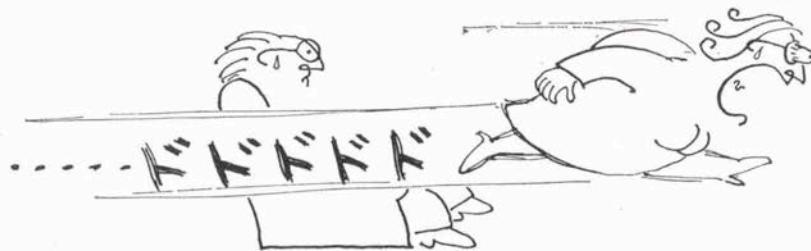
動物園のかたが  
カバ用の下剤を  
とりにこられていました



見あたり  
ませんが……



アイスコーヒー用のコップに  
はいってあるじゃろうが"









女の赤ちゃん相手に、男三人が大奮闘

あなた！画面の真正面から、またひろげ、彼女は観客に向ってオシッコ。

今村作品の「ええじゃないか」は女優さんが数人ならんで尻をまくってシャーツとおしつこましたが、今村監督の洒落のなさがエロにもグロにもならぬおそまつになりました。

クラウディア・カルディナーレは「鞄を持った女」で草むらにしゃがんでスカートをめくりオシッコしました。このイタリア映画はこのときオシッコの音を見事に聞かせたので感心しました。

ドイツ映画ではボーラ・ネグリイが「バッシュン」で道にしゃがんでオシッコしたのですがサイレント時代の映画でしたから彼女がしゃがんだ足もとからオシッコの



CINEMA  
試写室

# もの言えば涼しや 夏の風さわぐ

（映画評論家）

流れだす路上のアップを見せてドキッとさせました。

ところがつい最近のフランス映画「赤ちゃんに乾杯！」では三人の男が生れて六ヶ月の女の赤ちゃんを三人ばかりで世話するという男三人独身物語ですがこの映画の赤ちゃんの可愛さったら何とも言えぬ可愛いさで、さぞや長ずるにいたり男泣かせの美人になろうと見とれるばかり。けれども映画の中ではまだ六ヶ月。この映画に出ている赤ちゃんもまさに六ヶ月のお嬢ちゃん。これがぬらす。いまおしめをかえたのにまたぬらします。男三人まあこの子つたらと叱るつもりがニコニコニーッと笑うので、ついたまりかね頬ずりしてしまって“さあ、おしめ、とりかえてやるぜ”と三人男がその子の両足つまんで……と言うところであなたキヤメラは真正面にこの子のあそこを撮つしまつたのであります。劇映画が女のあそこを正面ばっかり、それもほんとに画面中央にあそこを出させバチッと撮つたのですからこの赤ちゃん、十五年たち十八年たつたら、いったいどののようなショックを受けるであります。

しかもあなた見えてしまつた！それだけではないんですね、ピューッとほんとうにあそこからまたもオシッコがとびだした。そのピューッととびだした勢いのよさ。これぞフランス映画の最新作。けれど監督がコリーヌ・セロー。女の監督だったので、なぜかそれでホッとしたしました。

あなた／見てごらん／誰が伯爵を誰が伯爵夫人を誰が男爵を誰が男爵夫人を。シャンデリアに輝くこの日本映画！

市川崑の「鹿鳴館」。もちろんこの映画、おしつこなとするシーンはございません。念のため。明治初めの鹿鳴館のおはなしです。見ていて飽きたところか見とれてしまします。あなた菅原文太が伯爵になつて夫人と大宴

会場でワルツを踊るのですぞ。まあお聞きなさいよ。それがねエ、実は、よろしいんですよ。ゲイブルとパート

・ランカスターをこねまぜたマイキヤップでね。だいたいに今の俳優さんはみんな背が高くなつたせいか、かかる明治錦絵の西洋はくらいダテですがたが、そもそもおかしくないどころか文太伯爵おいろけもたたよわせ、お女中

を台所で手ごめになさるところは、もっと伯爵のなにかがほしかったものの、宴會場ではカッ朴もよろしく、わたくしほんとうに失礼ながら、もつといやらしいサル

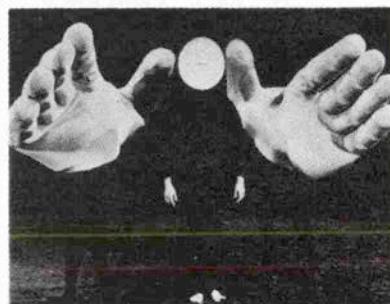
芝居映画に落ちはせぬかと思つたハラハラの心配はさらりとぬぐい去られ、ずらり並んだ女優さんどもすべて衣裳美しく見とれるばかりであります。しかれども日本の大庭園、日本のお座敷の美しさは日本美術のさえを



明治初めの鹿鳴館時代のおはなし

見せたというのに明治エリート・ハイカラ・貴族となるとその貴族の風格、これはまだ出ませんねエ。けれども、あなた活動写真時代の新派と呼んだ現代劇に登場した女性の異様なる洋服のすごさからくらべあれから時は流れで七〇年、すっかり日本映画の貴族シーンも上等になりました。

あなた／音楽なし／台詞なし／舞台は黒一色／登場するは大きな大きな二つの白い手の二時間！



バケモノ手首がサヨナラ、サヨナラ

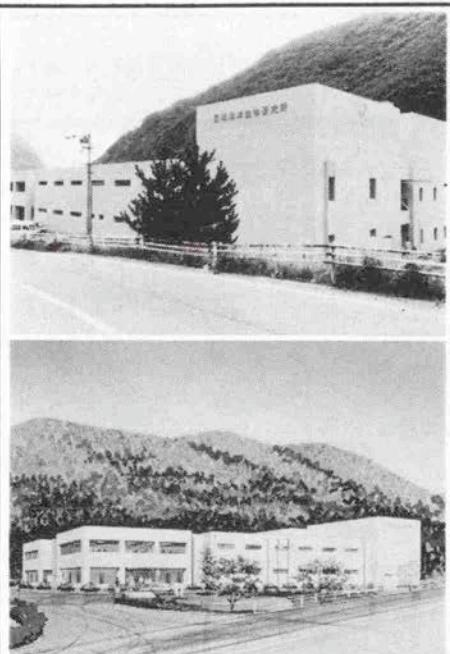
ことし六月ニユーヨークで見たマイム。この三人は二回ほど日本にもまいりました。これをブロードウェイのヘレン・ヘイス劇場であらためて見てまいりました。手首からさきの白い大きな手ぶくろの手。このバケモノ手

首が客席の両がわからユラリユラリと出てまいりました。手てニギニギのサヨナラサヨナラみたいなことをやりながらこの手が舞台にあがつて両方が近づき、しつかと握手したところから始まるマイムと

アニメ感覚を楽し

む“MUMMENSCHANZ”（マミシャンツ）とでも発音するのでしようか）この一座をマジックマイムと呼びますように一つの手の指からスーと一本の白線が流れ出で黒ばんにハクボクで一線をひくように見せたり、この二つの手がもみ合つたり、ただその動きその演出その黒と白の効果をジーッと見つめている客席にマンハッタ





## OPEN

### ●田崎海洋生物研究所

#### 徳島に開設

ハイテク時代を迎え、バイオテクノロジーが浸透しつつある現代、田崎海洋生物研究所が徳島県海部郡日和佐町に8月5日、オープンした。「より美しく価値ある真珠を安定的に生産し、世界中に供給するべく新養殖技術を開発すること」と「これによって業界および地域産業の発展に寄与すること」を目的としたこの研究所は、延面積3,400m<sup>2</sup>に飼育実験室、分析研究室、植物プランクトン培養室等を保有している。研究内容は、栄養生理学(飼料等)、環境生理学(水質、環境)品質改良(育種、交配等)、新養殖技術、真珠以外の水産研究となっており、その成果が早くも期待されている。

● 有馬温泉・古賀閣では、庭園の茶席「尚月席」を9月より一般開放(午前11時から午後3時まで)。從来、宿泊客しか味わえなかつたが、予約困難な3種類。その他、本格的手の打ちは、季節の料理を添えたり手打ちそばセット、手打ちそば(¥6,000)も好評。予算に応じて利用できる品書きとなつた。6万坪の庭園を眺めながら、くつろいでの味わい。従来の味覚はまさに絶品。

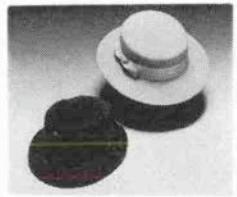
● 8月1日から20日までの6甲オリエンタルホテルが閉かれた。徳島においては、今までの8月1日から20日までの6甲オリエンタルホテルが閉かれた。

● 有馬温泉・古賀閣では、庭園の茶席「尚月席」を9月より一般開放(午前11時から午後3時まで)。從来、宿泊客しか味わえなかつたが、予約困難な3種類。その他、本格的手の打ちは、季節の料理を添えたり手打ちそばセット、手打ちそば(¥6,000)も好評。予算に応じて利用できる品書きとなつた。6万坪の庭園を眺めながら、くつろいでの味わい。従来の味覚はまさに絶品。

● 本料理の魅力を知つてもらおうと、「秋声の膳」と題した会席料理を用意。秋になつた。だいたい、手打ちそば(¥8,000)と手打ちそばセット(¥10,000)が人気。予算に応じて利用できる品書きとなつた。6万坪の庭園を眺めながら、くつろいでの味わい。従来の味覚はまさに絶品。

● 本料理の魅力を知つてもらおうと、「秋声の膳」と題した会席料理を用意。秋になつた。だいたい、手打ちそば(¥8,000)と手打ちそばセット(¥10,000)が人気。予算に応じて利用できる品書きとなつた。6万坪の庭園を眺めながら、くつろいでの味わい。従来の味覚はまさに絶品。

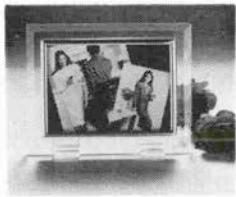
## TOPICS



### ●マキシングより

#### 秋冬の帽子を

帽子・アクセサリーの老舗、トアロードのマキシングより、秋冬のエレガントな帽子をプレゼント。キャノチエ型は色はベージュでウール製。セーラー型はワインカラーでエクセース製。おしゃれの秋にふさわしい上品さ。受け取りはマキシングまで。



### ●メープル不二屋より

#### クリスタル製額縁を

トアロードのメープル不二屋より、クリスタル製の額縁を今回1名様にプレゼントします。ヨコ23cm、タテ20cmの大きさで流行のシルクスクリーンやリトグラフなど思い思いに入れ変えて、楽しんでみては?商品の受け取りは神戸っ子編集室まで

## PEOPLE <47>



### ●紳士注文服業界の「新風」

#### 岡田 武さん<紳士服アダムG>

社長・岡田巣さんの次男。大学を卒業後、輸入ファッショントを扱う大阪の商事会社に就職し、大丸梅田店に出向。5年間の修業の後、9月1日からアダムGへ「里帰り」となった。すでに副所長として活躍中の長兄勝さんと共に、次代のアダムGを背負って行くことになる。紳士注文服業界でのフレッシュマンとして大いに期待されている。昭和34年生まれ。

## PRESENT CORNER

応募方法 ● 葉書に住所、氏名、電話番号、希望する商品名を明記の上、神戸市中央区東町11-1 大神ビル2階「月刊神戸っ子」神戸百貨店会員登録係までご応募下さい。9月20日消印まで有効です。当選者には神戸っ子から当選葉書を発送。葉書を持ってお店まで、プレゼントを受け取りに出かけ下さい。

★神戸ファッション市民大学OBによるグループ

&lt;神戸のファッション都市化をめざす&gt;

## K.F.S. news 116

事務局／神戸市中央区東町113-1 大神ビル9F  
月刊神戸っ子内 T E L (078) 331-2246

## ● '86 K.F.S. 総会

## '86 K.F.S. 新役員決定

'86 K.F.S. 総会が、7月18日六甲荘で開かれ、'86 K.F.S. の新役員が決定した。

田中副会長から事業報告、張会計から会計報告が行なわれ、米田監査役からの監査報告も無事終了、引き続き役員の改選へと移った。

理事会の推薦により、荒津会長が、3期連続で'86 K.F.S. 会長に就任。以下、三役・理事が右記のように決定した。

2期にわたって開催してきたマンスリーサロン「創る」は、様々な講師により、多彩な展開となつたが、'86年度はそれらの成果をさらに発展させて「活かす」をテーマに進められることになった。

86年6月号のNEXT「神戸市の185人」でもメンバーが紹介されるなど、全国でもまれな異業種の集まりが对外



六甲荘での'86 K.F.S. 総会

## K.F.S. 新副会長



大内 信行 中島 正義 張 恵美

## 新役員

会長	荒津 正美
副会長	中島 正義 大内 信行
	張 恵美
会計	若林 雄三 千葉瑠璃子
書記	西條 幹男 高橋 克彦
監査	市野木江充子 米田博司
理事	柿本 雅司 田中 謙司 清谷 泰夫 佐藤 良子 森 容子 小泉美喜子 藤井美智子 永田 耕一 兼古 啓嗣 中村 妙子 大里最世子 寺本 信江 中田 泰次

神戸ファッション研究所  
設立基金募集中！

荒津 正美

## K.F.S. 新会長

K.F.S. は、多業種の方が集まっておられますので、この会の特徴をより活かすために、今年は、会員の自己 P R の場を設けたいと思っています。

K.F.S. のマンスリーサロンは、月例勉強会として昭和50年から始まり、以来10年、経済界、文化界、教育界あらゆる分野のゲスト講師のご好意と有意義な講義をいただき好評を博してまいりましたが、特に56年からは年間テーマ「売る」から、シリーズ化し以来「人財力」「創る」と続けてまいりましたが、今年度は「活かす」に決まり第一回目の講師はKCCの小林理事長さんをお迎えして9月19日(金)にスタートいたします。これから2年間多彩なゲストによる楽しいマンスリーです。皆様のご参加をお待ちしております。

神戸には K.F. と名のつくグループがたくさんありますので、互いに連絡をとりあって、神戸のファッションのための活動を広げていければと思っております。

## ● 9月のマンスリーサロン

日時 9月19日(金) PM 6:30~  
場所 神戸市勤労会館406号  
講師 小林KCC理事長



# ひとつ・いん



★ビーナツとオカキしか出  
ないスナックは古い!

7月10日スナック『サン

・ソン』が東門にオープン

した。この料理はオーナーの扶蘇さんが心を込めた手作りの味、牛刺し、ロールキャベツなどが八百円し

千円で楽しめる。並のスナックじやないのだ。ちなみにロールキャベツは阪急のアニマル選手が1人で6個

も充分楽しめてしまうのでヤングにもオススメ。もち



エメラルドグリーンの明るい店内



くつろいでうなぎ料理を

六甲でうなぎの小売を20年以上しているペテラン。その上、浜名湖産の新鮮な良質うなぎを使っているので

オーナーの浜辺さんは、三宮・生田神社前にオープンした。

うなぎの専門店『漬』が

三宮・生田神社前にオープ

ンした。

うなぎを使っているので

うなぎには自信あり。

広い店内にはお座敷もあり、会合・宴会にもうつて

くるぞ!

うなぎ定食(八幡巻、きも焼、小鉢物、吸物付)二二五〇円

円はボリュームたっぷり。



新鮮なネタで勝負!

は驚く。一般的の店の3倍!

4倍はあって、80円より各

種というから安いが止まら

ない。積み上げること多宝

塔の如し。料理を見たら思

わず納得、ド迫力でせまつ

てくるぞ!「いいものを大

きく安く」をモットーに限

界に挑戦してくれている。

ろんアルコールがダメな人  
でも退屈させません。

『スナック サン・ソン』

中央区

10P.M.

休







新しい関西を創造する総合雑誌

# オール関西

好評発売中 ¥580 (年間購読) 9月号



## 特別企画

味上  
覚記  
行方

菊乃井

楠本憲吉

第2弾

高田  
藤田  
谷邦  
穎介  
昭昇

大阪ミナミ活性化キャンペーン

大阪の「二つの新しい顔」誕生  
— ホテルニューオータニ大阪 &  
大阪ビルトンインターナショナル —



★スター  
★ハイライト

## 京本政樹

「創造の世界」  
京都市染織試験場

—日本の宝との出会い—

「仙人湯」

藤嶽彰英

孟さんの新風俗記

大阪の曲り角

木津川

高橋

孟

程さんのうんちく料理塾

程

一彦

計



■ビッグインタビュー  
■感遊創を掲げて世界に挑戦  
塚本幸一 (ワコール代表取締役)  
関西展望Ⅲ

特集  
社会活力ある  
会づくりをめざして